

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年6月9日まで（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベ ビ ー ファン ド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マ ザ ー ファン ド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベ ビ ー ファン ド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マ ザ ー ファン ド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

第9期（決算日：2021年12月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）」は、去る12月9日に第9期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

供給網の混乱のほか、デルタ株の感染再拡大やオミクロン株の出現による新型コロナウイルスの影響が懸念されて下落する局面があったものの、中国における高級化粧品販売がコロナ対策が強化された中でも好調さを維持したことや、経済正常化によるメイクアップ需要回復への期待などからビューティー・ビジネス関連企業の株価は概ね好調に推移しました。

運用のポイント

世界的な高いブランド力や高成長が続くオンライン、中国本土での販売力を重視し、引き続き「L'OREAL」、 「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」、 「PROCTER & GAMBLE CO/THE」などの欧米有力化粧品メーカーを上位に組み入れたポートフォリオを維持しました。オミクロン株の感染拡大などの懸念はあるものの、経済正常化に向けた動きは徐々に進んでいくものと見込まれます。外出が規制される中でも化粧品需要は堅調に推移していることに加え、外出機会の増加や旅行需要の回復に

伴ってメイクアップを牽引役とした化粧品需要や免税品販売の回復も期待されています。当ファンドでは、組入上位の大手化粧品メーカーのほか、これらの恩恵が大きい化粧品専門の小売店、空港での免税店運営企業などにも注目しています。

運用環境の見通しおよび今後の運用方針

ビューティー市場は、高齢化によるアンチエイジング需要の高まりや、女性の社会進出など社会構造の変化、新興国での化粧文化の普及といった構造的な成長要因により、中長期にわたり着実な成長が見込まれる、という見方に変更はありません。このような構造的な成長要因を背景に、2021年以降は、経済の正常化に伴う外出機会の増加や旅行需要の回復に加えて、中国での「ライブコマース」といった新しい販売手法の普及などが原動力となって1桁台後半での成長が継続していくと予想しています。当ファンドでは、ビューティー市場の構造的な成長からの恩恵を享受すると考えられる企業を中心に投資を行います。また、ビューティー市場の動向を常に精査しながら、ポートフォリオの調整や新規銘柄の発掘などを行い、今後もパフォーマンスの向上に努めてまいります。



株式運用部
ファンドマネージャー

西 直人

安井 陽一郎

秋元 政隆

小島 直人

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組入比率	株式先物比率	純資産額
		税金 分配	み 騰	騰 落			
	円		円		%	%	百万円
5期(2019年12月9日)	9,795		0	△ 2.1	95.8	—	25,983
6期(2020年6月9日)	9,610		0	△ 1.9	94.9	—	24,636
7期(2020年12月9日)	10,000		893	13.4	90.5	—	18,206
8期(2021年6月9日)	10,000		1,459	14.6	92.4	—	16,924
9期(2021年12月9日)	10,000		716	7.2	96.7	—	22,562

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組入比率	株式先物比率	株式率
		騰	騰落率			
(期首) 2021年6月9日	円 10,000		% —	% 92.4		% —
6月末	10,128		1.3	95.5		—
7月末	10,168		1.7	96.3		—
8月末	10,236		2.4	97.1		—
9月末	10,008		0.1	96.8		—
10月末	10,487		4.9	97.6		—
11月末	10,489		4.9	97.7		—
(期末) 2021年12月9日	10,716		7.2	96.7		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

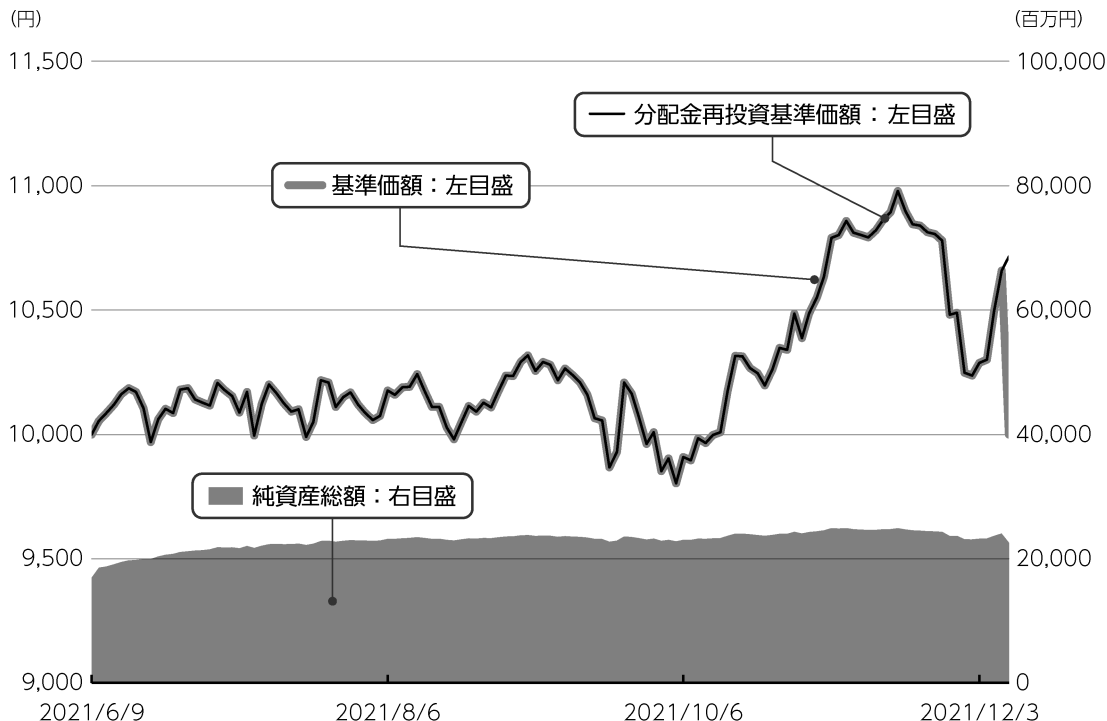
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第9期：2021年6月10日～2021年12月9日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第9期首	10,000円
第9期末	10,000円
既払分配金	716円
騰落率	7.2%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

組入銘柄（ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A、PROCTER & GAMBLE CO/THE、INMODE LTD）の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。また、円に対して米ドルが上昇したことが、プラスに寄与しました。

第9期：2021年6月10日～2021年12月9日

投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

世界の株式市場は、インフレ率の高止まりや供給網の混乱への懸念があったものの、経済正常化に伴う好調な企業業績を

好感し、上昇しました。

▶ 為替市況

円に対して米ドルは上昇した一方、ユーロは下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

（環境・社会・ガバナンス）への取り組みの4点に着目した運用を行いました。通貨別では、米ドルの比率を引き上げた一方、円やスイスフランなどの比率を引き下げました。

組入銘柄数については、業績動向などから銘柄の新規組み入れを行い、期首の35銘柄から1銘柄増加し、期末は36銘柄としました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「E S G

主な銘柄入替は以下の通りです。

低侵襲な美容医療機器を開発し、業績の拡大が見込まれるイスラエルの美容医療機器メーカーの「INMODE LTD」の新規組み入れを行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。

（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第9期
	2021年6月10日～2021年12月9日
当期分配金（対基準価額比率）	716（6.682%）
当期の収益	665
当期の収益以外	50
翌期繰越分配対象額	321

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

世界の化粧品市場は、新たな変異株「オミクロン株」の出現により新型コロナウイルスに対する懸念が残っているものの、ワクチン接種進展や経口薬の開発などに伴った経済活動の正常化によって回復が進んでいくと期待されています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のための規制が緩和されていけば、メイクアップ需要の回復や、旅行機会の増加に伴う免税品販売の復活が期待できることから、ビューティー・ビジネス関連企業の業績回復に注目が集まりそうです。

こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESGへの取り組み」の4点に注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場

拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのはもちろんのこと、新興国の需要を着実に取り込んでいる企業に着目しています。

さらに、近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけではなく、スキンケアやメイクといった美容分野にデジタル技術やITを組み合わせた製品・サービス「ビューティーテック」が個人への最適化に向いているとして注目しています。また、ESGへの取り組みがブランド力や企業の持続性を高めるとの観点から、リサイクル可能な容器やオーガニック素材を使用した商品開発のみならず、女性の地位向上に向けた社会貢献活動や、多様な人材が活躍できる職場環境の整備、などにも注目しています。

当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、ビューティー市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、ビューティー市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

2021年6月10日～2021年12月9日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	93	0.904	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(45)	(0.441)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(45)	(0.441)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.057	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(6)	(0.057)	
(c) 有価証券取引税	4	0.035	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(4)	(0.035)	
(d) その他費用	1	0.011	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	104	1.007	

期中の平均基準価額は、10,249円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

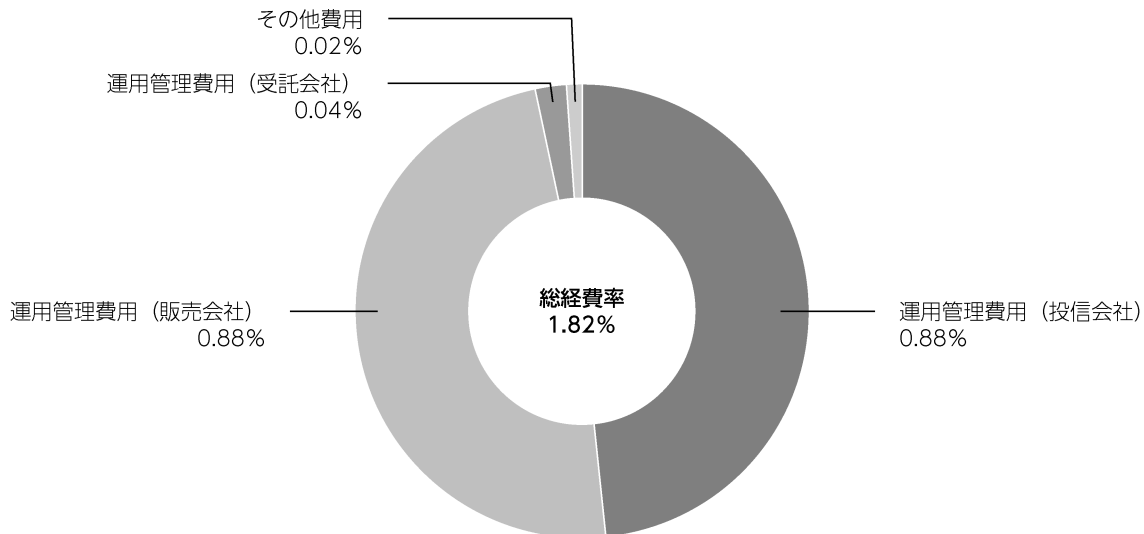
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.82%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年6月10日～2021年12月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 4,356,698	千円 7,163,680	千口 1,445,471	千円 2,532,760

○株式売買比率

(2021年6月10日～2021年12月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	13,534,211千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	27,366,752千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.49

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年6月10日～2021年12月9日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）>

該当事項はございません。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	9,335	102	1.1	4,198	—	—
為替直物取引	8,058	1,329	16.5	3,604	2,734	75.9

平均保有割合 81.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	13,207千円
うち利害関係人への支払額 (B)	64千円
(B) / (A)	0.5%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年12月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	9,777,620	12,688,847	22,343,791

○投資信託財産の構成

(2021年12月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	22,343,791	91.6
コール・ローン等、その他	2,055,859	8.4
投資信託財産総額	24,399,650	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（26,059,959千円）の投資信託財産総額（29,514,553千円）に対する比率は88.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.82円	1 ユーロ=129.04円	1 イギリスポンド=150.27円	1 スイスフラン=123.60円
1 オーストラリアドル=81.51円	1 香港ドル=14.60円	100韓国ウォン=9.71円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年12月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	24,399,650,198
コール・ローン等	305,858,285
ワールド・ビューティ・マザーファンド(評価額)	22,343,791,913
未収入金	1,750,000,000
(B) 負債	1,837,045,015
未払収益分配金	1,615,538,387
未払解約金	13,309,731
未払信託報酬	207,804,031
未払利息	128
その他未払費用	392,738
(C) 純資産総額(A-B)	22,562,605,183
元本	22,563,385,298
次期繰越損益金	△ 780,115
(D) 受益権総口数	22,563,385,298口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,000円

<注記事項>

- ①期首元本額 16,925,603,048円
 期中追加設定元本額 9,115,403,593円
 期中一部解約元本額 3,477,621,343円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0000円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は780,115円です。

③分配金の計算過程

項 目	2021年6月10日～ 2021年12月9日
費用控除後の配当等収益額	104,766,673円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	1,397,102,058円
収益調整金額	564,952,934円
分配準備積立金額	273,219,337円
当ファンドの分配対象収益額	2,340,041,002円
1万口当たり収益分配対象額	1,037円
1万口当たり分配金額	716円
収益分配金金額	1,615,538,387円

○損益の状況（2021年6月10日～2021年12月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 36,306
受取利息	538
支払利息	△ 36,844
(B) 有価証券売買損益	1,710,101,806
売買益	1,823,384,979
売買損	△ 113,283,173
(C) 信託報酬等	△ 208,196,769
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,501,868,731
(E) 前期繰越損益金	273,219,337
(F) 追加信託差損益金	△ 160,329,796
(配当等相当額)	(559,252,499)
(売買損益相当額)	(△ 719,582,295)
(G) 計(D+E+F)	1,614,758,272
(H) 収益分配金	△1,615,538,387
次期繰越損益金(G+H)	△ 780,115
追加信託差損益金	△ 160,329,796
(配当等相当額)	(564,952,934)
(売買損益相当額)	(△ 725,282,730)
分配準備積立金	159,549,681

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	716円
-----------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2021年12月9日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第9期》決算日2021年12月9日

[計算期間：2021年6月10日～2021年12月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、12月9日に第9期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
5期(2019年12月9日)	12,395	△ 1.2		98.8	—	31,594
6期(2020年6月9日)	12,268	△ 1.0		97.7	—	29,829
7期(2020年12月9日)	14,052	14.5		97.4	—	21,033
8期(2021年6月9日)	16,252	15.7		98.5	—	19,875
9期(2021年12月9日)	17,609	8.3		97.6	—	27,433

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
(期 首) 2021年6月9日	円 16,252	% 98.5	% —
6月末	16,493	1.5	96.0
7月末	16,586	2.1	97.1
8月末	16,725	2.9	97.6
9月末	16,374	0.8	97.5
10月末	17,189	5.8	97.9
11月末	17,220	6.0	98.0
(期 末) 2021年12月9日	17,609	8.3	97.6

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ8.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

組入銘柄 (ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A、PROCTER & GAMBLE CO/THE、INMODE LTD) の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。また、円に対して米ドルが上昇したことが、プラスに寄与しました。

●投資環境について

◎株式市況

- 世界の株式市況は上昇しました。
世界の株式市場は、インフレ率の高止まりや供給網の混乱への懸念があったものの、経済正常化に伴う好調な企業業績を好感し、上昇しました。

◎為替市況

- 円に対して米ドルは上昇した一方、ユーロは下落しました。

- 当投資信託のポートフォリオについて
 - ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。
 - ・当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組み」の4点に着目した運用を行いました。
 - ・通貨別では、米ドルの比率を引き上げた一方、円やスイスフランなどの比率を引き下げました。
 - ・組入銘柄数については、業績動向などから銘柄の新規組み入れを行い、期首の35銘柄から1銘柄増加し、期末は36銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

低侵襲な美容医療機器を開発し、業績の拡大が見込まれるイスラエルの美容医療機器メーカーの「INMODE LTD」の新規組み入れを行いました。

○今後の運用方針

- ・世界の化粧品市場は、新たな変異株「オミクロン株」の出現により新型コロナウイルスに対する懸念が残っているものの、ワクチン接種進展や経口薬の開発などに伴った経済活動の正常化によって回復が進んでいくと期待されています。新型コロナウイルスの感染拡大防止のための規制が緩和されていけば、メイクアップ需要の回復や、旅行機会の増加に伴う免税品販売の復活が期待できることから、ビューティー・ビジネス関連企業の業績回復に注目が集まりそうです。

- ・こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」、「ESGへの取り組み」の4点に注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのももちろんのこと、新興国の需要を着実に取り込んでいる企業に着目しています。
- ・さらに、近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけではなく、スキンケアやメイクといった美容分野にデジタル技術やITを組み合わせた製品・サービス「ビューティーテック」が個人への最適化に向いているとして注目しています。また、ESGへの取り組みがブランド力や企業の持続性を高めるとの観点から、リサイクル可能な容器やオーガニック素材を使用した商品開発のみならず、女性の地位向上に向けた社会貢献活動や、多様な人材が活躍できる職場環境の整備、などにも注目しています。
- ・当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、ビューティー市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、ビューティー市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年6月10日～2021年12月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 10 (10)	% 0.058 (0.058)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	6 (6)	0.035 (0.035)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.010 (0.010) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	18	0.103	
期中の平均基準価額は、16,764円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年6月10日～2021年12月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 173	千円 866,692	千株 32	千円 170,199
	アメリカ	百株 5,213 (359)	千アメリカドル 42,970 (-)	百株 1,122	千アメリカドル 16,644
外国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	43	438	-	-
	フランス	342 (101)	12,574 (-)	257	6,846
	イギリス	1,291	千イギリスポンド 6,468	224	千イギリスポンド 1,180
	スイス	683	千スイスフラン 8,518	913	千スイスフラン 8,847

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年6月10日～2021年12月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	13,534,211千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	27,366,752千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.49

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年6月10日～2021年12月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	9,335	102	1.1	4,198	—	—
為替直物取引	8,058	1,329	16.5	3,604	2,734	75.9

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	16,117千円
うち利害関係人への支払額 (B)	79千円
(B) / (A)	0.5%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年12月9日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	金 額	株 数	評 価 額
化学 (100.0%)	千株		千株	千円
花王	62.5		62.5	381,687
資生堂	121.3		172.4	1,182,491
マンダム	14.5		14.5	21,097
ミルボン	8.8		8.8	50,864
ファンケル	315.2		405.2	1,430,356
コーセー	2.1		2.1	29,484
ポーラ・オルビスホールディングス	10.8		10.8	22,842
合 計	株 数	金 額	株 数	評 価 額
	535		676	3,118,822
	銘 柄 数 < 比 率 >		7	< 11.4% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,261	1,780	13,841	1,575,414	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	524	586	20,895	2,378,305	家庭用品・パーソナル用品	
JOHNSON & JOHNSON	160	224	3,681	418,996	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	1,163	1,369	20,867	2,375,157	家庭用品・パーソナル用品	
CLOROX COMPANY	394	553	9,278	1,056,048	家庭用品・パーソナル用品	
ALIGN TECHNOLOGY INC	2	2	193	22,056	ヘルスケア機器・サービス	
COOPER COS INC/THE	94	110	4,564	519,500	ヘルスケア機器・サービス	
LULULEMON ATHLETICA INC	79	125	5,325	606,091	耐久消費財・アパレル	
ULTA BEAUTY INC	106	113	4,656	530,016	小売	
CHURCH & DWIGHT CO INC	410	596	5,662	644,448	家庭用品・パーソナル用品	
ABBVIE INC	327	399	4,862	553,462	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COTY INC-CL A	802	802	823	93,748	家庭用品・パーソナル用品	
APTARGROUP INC	556	856	10,342	1,177,148	素材	
PLANET FITNESS INC - CL A	273	370	3,297	375,356	消費者サービス	
SMILEDIRECTCLUB INC	553	553	163	18,630	ヘルスケア機器・サービス	
ENVISTA HOLDINGS CORP	837	1,239	5,175	589,052	ヘルスケア機器・サービス	
SO-YOUNG INTERNATIONAL-ADR	151	1,746	668	76,113	メディア・娯楽	
INMODE LTD	—	718	5,315	604,993	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額	7,692	12,142	119,614	13,614,543	
	銘柄数<比率>	17	18	—	<49.6%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BETERSDORF AG	99	142	1,286	165,961	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	99	142	1,286	165,961	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.6%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	131	179	12,830	1,655,621	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	343	433	18,110	2,336,943	家庭用品・パーソナル用品	
INTERPARFUMS SA	1,010	1,058	7,226	932,461	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	1,484	1,670	38,166	4,925,025	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<18.0%>	
ユーロ計	株数・金額	1,583	1,812	39,452	5,090,986	
	銘柄数<比率>	4	4	—	<18.6%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
UNILEVER PLC	1,313	1,982	7,835	1,177,491	家庭用品・パーソナル用品	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	734	1,132	7,025	1,055,675	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	2,047	3,114	14,861	2,233,166	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<8.1%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GIVAUDAN-REG	18	22	10,730	1,326,258	素材	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	35	34	6,936	857,289	ヘルスケア機器・サービス	
DUFREY AG-REG	936	703	3,131	387,011	小売	
小計	株数・金額	989	759	20,797	2,570,560	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<9.4%>	
(香港)			千香港ドル			
L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	2,550	2,550	8,109	118,391	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	2,550	2,550	8,109	118,391	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.4%>	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(韓国) LG HOUSEHOLD & HEALTH CARE	百株 2	百株 2	千韓国ウォン 334,656	千円 32,495	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額 2	2	334,656	32,495	
	銘柄数 < 比率 > 1	1	—	< 0.1% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 14,866	20,381	—	23,660,143	
	銘柄数 < 比率 > 28	29	—	< 86.2% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2021年12月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 26,778,966	% 90.7
コール・ローン等、その他	2,735,587	9.3
投資信託財産総額	29,514,553	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（26,059,959千円）の投資信託財産総額（29,514,553千円）に対する比率は88.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.82円	1 ユーロ=129.04円	1 イギリスポンド=150.27円	1 スイスフラン=123.60円
1 オーストラリアドル=81.51円	1 香港ドル=14.60円	100韓国ウォン=9.71円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年12月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	31,698,993,529
コール・ローン等	600,318,918
株式(評価額)	26,778,966,209
未収入金	4,315,552,286
未収配当金	4,156,116
(B) 負債	4,265,923,540
未払金	2,184,443,399
未払解約金	2,081,480,000
未払利息	141
(C) 純資産総額(A-B)	27,433,069,989
元本	15,579,150,607
次期繰越損益金	11,853,919,382
(D) 受益権総口数	15,579,150,607口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,609円

<注記事項>

- ①期首元本額 12,229,737,755円
 期中追加設定元本額 5,141,753,489円
 期中一部解約元本額 1,792,340,637円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.7609円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	12,688,847,699円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	2,890,302,908円
合計	15,579,150,607円

○損益の状況 (2021年6月10日～2021年12月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	147,130,843
受取配当金	147,236,326
受取利息	1,346
その他収益金	183
支払利息	△ 107,012
(B) 有価証券売買損益	2,081,947,016
売買益	3,309,240,834
売買損	△ 1,227,293,818
(C) 保管費用等	△ 2,717,275
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,226,360,584
(E) 前期繰越損益金	7,646,191,650
(F) 追加信託差損益金	3,316,576,511
(G) 解約差損益金	△ 1,335,209,363
(H) 計(D+E+F+G)	11,853,919,382
次期繰越損益金(H)	11,853,919,382

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。